



自然環境豊かで人気のドッグラン

## 予算審査特別委員会報告書(抜粋)

### 審査の内容

歳入については一括、歳出については款ごとに審査しました。歳入は、自主財源の根幹である町税は減少傾向にあり、新たな財源の確保に取り組む必要があります。

歳出は、地方創生事業の取り組みを積極的に行い、予算額は45億6,000万円となり、過去2番目に大きな予算規模ですが、内容は厳しい予算編成となっています。

これらのことを踏まえ、次の項目について強く申し入れて、賛成することとしました。

- (1) 財源内訳は、自主財源が減り依存財源が増えており、弾力性がなくなっているため、新たな自主財源の確保に努められたい。
- (2) PFI事業で町営住宅建設が始まるが、議会との調整を密にし執行されたい。
- (3) 旧松田土木事務所跡地利用については、地方創生事業により進めるが、議会との調整を密にし執行されたい。
- (4) 事業の増加に伴い時間外勤務手当が増額されているが、執行管理を徹底されたい。

## 施設

**質** 寄ヒールンクビレッジ事業の中で、ドッグランの利用料金の改定がされ、町内在住と在勤者は安価に設定されているが、町内か町外かの判断はどのようにするのか。

**答** (観光経済課)

町内在住・在勤者については、身分証明となるものにより、1年に1回

更新する会員登録を発行し、入場時に提示していただき判断する。

**質** 松田山ハープガーデンの指定管理契約は、平成29年度で5年間で終了するが、経営状況も思わしくなく、その後の業者選定にあたっては難航するのではないのか。

**答** (観光経済課)

今後のハープ館の管理・運営にあたっては、

ハープ園のみでなく、西平畑公園全体を含めた指定管理を検討していく。

また、ハープ館の物品販売・レストラン経営に対しても、充実を図っていくように調整をしていく。

**質** 新松田駅周辺にバスの待合所の設置を毎年求めているが、どうなっているのか。

**答** (まちづくり課)

桜まつりの時の物販所を利用できないか検討し

**質** 定住化・少子化事業の進行状況は。

**答** (定住少子化担当室)

縁結びサポート事業を山北町と広域で行い6組成立した。また、ふるさと松田同窓会事業や二世帯同居等支援事業等で二世帯同居を含め多くの方が当町に移住できている。

**質** 図書館の管理費は増えている一方、図書の入費は減っているが、どうなのか。

**答** (教育課)

現状の図書館システムが6年目で保守契約が終了し、新しく入れ替えとなる。予算の範囲内で皆さんに本を読んでもらうための、新しい取り組みを工夫していく。

## その他

している。所有者の方や交通事業者等と調整をして進めていく。

**質** 松田小学校のプールが昨年の夏休み中、閉鎖となった理由と今後の対応はどうなるのか。

**答** (教育課)

猛暑だったことや、遊びの多様化等でプールの利用者が減少したのが理由です。29年度も学童保育の子ども達も含め、松田中学校のプールの利用を続けていきたい。

**質** 有害獣防止柵の設置補助金が1m当たり1500円で、1件20万円以内に抑えるようにとあるが、150mの防護柵を設置した場合、不足金が生じてしまうが。

**答** (観光経済課)

現状は、1m当たり1500円という枠組みである。しかし、これに関しては、現実に即した要綱に変える方向で検討していく。



増築が予算化された松田さくら保育園

**質** 保育園・学童の入所基準は、どうなっているのか。ファミリーサポートセンターの助成金は減少しているが、利用状況はどうか。町の待機児童